

News release

2022年10月5日

協和キリンのCVC活動について

本ニュースリリースは、当社が発表した英文プレスリリースの内容を、当社が日本語に翻訳、再構成し、発表していません。本ニュースリリースの正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先することにご留意下さい。

協和キリン [英語リリース](#)

協和キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮本 昌志、以下「協和キリン」）は、コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）活動を開始し、バイオ分野のスタートアップ企業へ初の投資を実施したことをお知らせいたします。

協和キリンは2021-2025年中期経営計画において、協和キリンがビジョンに掲げる「Life-changing な価値の継続的創出」実現のための戦略の幹である「アンメット・メディカルニーズを満たす医薬品の提供」に向けた活動を行っています。その施策のひとつとして、ベンチャーキャピタル（VC）への出資を継続し、最先端の情報を獲得するための社内体制を整備してきました。また、創薬につながる新たな技術にさらに速やかにアクセスできるように、CVCについても社内体制整備をすすめてきました。

本年9月に協和キリンは初のCVC投資をCellarity社に対して実施しました。Cellarity社はFlagship Pioneeringにより設立された、創薬アプローチに変革をもたらす新たな技術を有する米国のバイオ分野のスタートアップ企業です。今後もVC/CVCを通じた積極的な投資活動により、協和キリンが目指すLife-changing な価値の創出を実現していきます。

協和キリングループは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。